

**2014 年度
大学のアクティブラーニング調査報告書**

河合塾

2015 年 12 月

1. 質問紙調査の概要

■調査対象

調査対象は2014年度カリキュラムとした。

すべての国公立大学および、入学定員の合計が1学年500人以上の規模の私立大学（医・歯・薬、獣医系の6年制の学部を除く）を対象とした。学部・学科系統は、国公立大学については医・歯・薬、獣医系の6年制の学部および教員養成・総合課程、生活科学、芸術・体育系統を除くすべての学科を対象、私立大については医・歯・薬、獣医系の6年制の学部を除くすべての学科を対象とした。

■調査時期

質問紙発送：2014年11月

質問紙回収：2014年11月～2014年12月

■系統別回答状況

	合計(学科)	国公立(学科)	私立(学科)
文・人文	443	22	421
社会・国際	133	15	118
法・政治	88	12	76
経済・経営・商	217	28	189
理	99	28	71
工	384	96	288
農	83	33	50
医・歯・薬・保健	128	39	89
生活科学	69	－	69
芸術・スポーツ科学	70	－	70
総合・環境・情報・人間	73	9	64
合計	1,787	282	1,505

2. 質問紙の設計

2014年度調査は、高校生・受験生に対して情報提供方法を研究対象として質問紙を設計した。したがって、これまでの河合塾が実施してきた2010年度から2013年度までの「大学のアクティブラーニング調査」の質問紙とは根本的に質問設計が異なっている。

本調査では、アクティブラーニングについて、文部科学省の定義に倣い、以下のように定義した。

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。(中略)発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

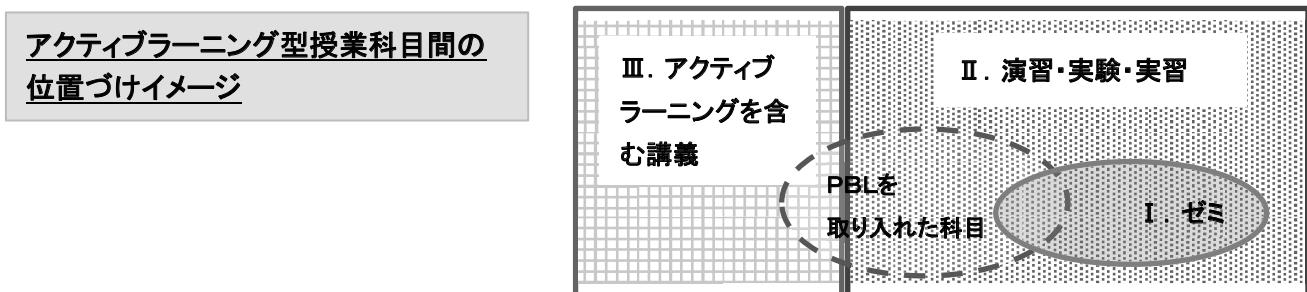
文部科学省が大学設置基準で定める授業の方法には、講義、演習、実験、実習若しくは実技がある。うち、本調査では講義、演習、実験、実習の中で取り組まれているアクティブラーニングを対象とした。実技は芸術および体育に関する授業が主に該当するが、本調査の対象には含まない。

本調査で対象とするアクティブラーニング型授業科目については下記の表と図となる。

I. ゼミ	双方向、少人数で行われ、輪読、ディスカッション、プレゼンテーションなどを行なうことを基本とする演習科目。本質問票では初年次ゼミと専門ゼミの総称する。
初年次ゼミ	初年次に配当され①スタディスキルや、②大学での能動的な学びへの態度転換を目的に行われるゼミ。
専門ゼミ・専門研究	専門知識を活用したり発展させたりする目的で行われるゼミ・研究科目。
II. 演習・実験・実習	「グループ学習」、「プレゼンテーション」、「PBL」、「振り返りシート」のアクティブラーニングの4つの形態のうちのいずれかが、全開講回数のうち延べ半数以上で実施されている演習・実験・実習科目。 なお、本調査での「演習」とはドリル等を用いた解法・技法のトレーニングを目的とした科目を指し、取り組み内容に鑑みてゼミに該当する科目については、ゼミとして扱う。
III. アクティブラーニングを含む講義	知識伝達型の科目のうち、「講義」だけでなく「グループ学習」、「プレゼンテーション」、「PBL」、「振り返りシート」の4つの授業形態のうちのいずれかが、全開講回数のうち延べ半数以上で実施されている講義科目。

(教養科目に分類される「語学科目」「体育科目」「情報系科目」は対象から除外)

本調査での P B L (Project / Problem based learning)科目とは上記のアクティブラーニング型授業科目の中で、専門知識等を活用した課題解決型学習を取り入れた科目とし、P B Lに取り組む授業回数が全開講回数の半分以上を占める科目のこととする。



質問紙調査

調査票

1. 全体設計

貴学科が設置している科目数ではなく、1人の学生が履修しなければならない科目として、以下の設問にお答えください。

1) 1人の学生が履修するアクティブラーニング型科目の科目数

1人^の学生が履修しなければならないアクティブラーニング型授業科目（必修あるいは履修率90%以上の科目）の科目数を、下記の指定の回答群から選び、（ ）内に番号でお答えください。また、卒業論文・研究については【回答群ロ】の3つの選択肢から該当する番号を選択してお答えください。

【回答群イ】 ①1科目 ②2科目 ③3科目以上 ④0科目

【回答群ハ】 ①1科目 ②2科目 ③3科目 ④4科目 ⑤5科目以上 ⑥0科目

		学期	回答群	1年次前期	1年次後期	2年次前期	2年次後期	3年次前期	3年次後期	4年次前期	4年次後期
I ゼミ	初年次ゼミ	イ(1～4)	↑()	()							
	専門ゼミ・専門研究	イ(1～4)	↑()	()	()	()	()	()	()	()	
II	卒業論文・卒業研究	ロ(1～3)									
III	演習・実験・実習	ハ(1～6)	↑()	()	()	()	()	()	()	()	
	アクティブラーニングを含む講義	ハ(1～6)	↑()	()	()	()	()	()	()	()	

※1 通年開講の科目の場合、前期と後期の両期でご回答ください。

※2 この表は、前・後期制を作成しています。4学期制の場合は第1・2学期を前期、第3・4学期を後期として、3学期制の場合は第1・2学期を前期、第3学期を後期としてご回答ください。

※3 該当する科目の履修学年に指定がない場合には、最も多くの学生が履修する学期に設定されているものとしてご回答ください。

2) 1人の学生が履修するPBLを取り入れた科目の科目数

1) ダカウントしたアクティブラーニング型授業科目の中から、「PBLを取り入れた科目」の科目数を、右記の【回答群イ】の中から選び、（ ）内に番号でお答えください。

【回答群イ】 ①1科目 ②2科目 ③3科目以上 ④0科目

		学期	回答群	1年次前期	1年次後期	2年次前期	2年次後期	3年次前期	3年次後期	4年次前期	4年次後期
PBLを取り入れた科目		イ(1～4)	↑()	()	()	()	()	()	()	()	()

2. アクティブラーニングを経験する学生の割合（授業形態・取り組み別）

1. 1) でアクティブラーニング型授業科目としてカウントした科目の授業の中で(0科目の場合)は対象外)、A：グループ学習、B：プレゼンテーション、C：PBL、D：振り返りシート(学習の記録を含む)といった授業形態・取り組みを、全学科生のうち、どれくらいの割合で経験しますか。科目区分ごと、授業形態区分ごとに各年次で経験する学科生の割合を、以下の【回答群ニ】から選び、() 内に番号でお答えください。

【回答群ニ】

- ①ほぼ全員が経験する ②半数以上が経験する ③半数未満が経験する ④経験しない ⑤把握していない

		科目区分				授業形態・取り組み				1年次				2年次				3年次				4年次			
I ゼミ	A	グループ学習	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	B	プレゼンテーション	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	C	PBL	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	D	振り返り(学習の記録を含む)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
II 演習・実験・実習	A	グループ学習	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	B	プレゼンテーション	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	C	PBL	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	D	振り返り(学習の記録を含む)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
III アクティブラーニングを含む講義	A	グループ学習	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	B	プレゼンテーション	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	C	PBL	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	D	振り返り(学習の記録を含む)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	

3. 正課としてのインターンシップと海外留学を経験する学生の割合

以下の設問について、該当する回答を以下の【回答群ニ】から選び、() 内に番号でお答えください。

- 【回答群ニ】**
- ①ほぼ全員が経験する
 - ②半数以上が経験する
 - ③半数未満が経験する
 - ④経験しない
 - ⑤把握していない

項目	回答
1) 正課科目（単位認定科目）としてのインターンシップ 正課科目（単位認定科目）で国内外でのインターンシップを4年間を通じて経験する学本科生の割合を、上記の【回答群ニ】から選び、() 内に番号でお答えください。 ※複数の該当科目がある場合、それらの全科目を通じ、全学本科生のうち、どれくらいの割合で経験するのかで回答してください。	()
2) 正課科目（単位認定科目）としての海外留学 正課科目（単位認定科目）の海外留学を経験する学本科生の割合を上記の【回答群ニ】から選び、() 内に番号でお答えください。 ※複数の該当科目がある場合、それらの全科目を通じ、全学本科生のうち、どれくらいの割合で経験するのかで回答してください。	()

4. 学生のジェネリックスキルの評価について

1) 専門知識だけでなくジェネリックスキル（汎用的能力）をループリック等を用いて各科目で評価していますか（IR や形成的評価も含む）。該当する回答を以下の【回答群ホ】から選び、（ ）内に番号でお答えください。

【回答群ホ】

- ①全科目で評価している ②一部の科目で評価している ③評価していない

回答（ _____ ）

2) 1) の回答が①あるいは②であった場合、具体的にその評価方法についてお教えてください。

ご協力ありがとうございました。

3. 質問紙調査の結果

(1) 全体設計について

【1】初年次ゼミについて

1人の学生が履修しなければならない初年次ゼミ(必修あるいは履修率90%以上)の科目数を聞いた。

学科系統ごとに、1年次に1科目以上の必修あるいは履修率90%以上の初年次ゼミ科目を設置している学科の数を集計し、回答学科数を分母に、その比率を算出した。

	合計	国公立	私立
文・人文	75.8%	86.4%	75.3%
社会・国際	91.0%	100.0%	89.8%
法・政治	84.1%	91.7%	82.9%
経済・経営・商	85.7%	92.9%	84.7%
理	48.5%	64.3%	42.3%
工	59.1%	63.5%	57.6%
農	69.9%	72.7%	68.0%
保健	53.9%	46.2%	57.3%
生活科学	55.1%	—	55.1%
芸術・スポーツ科学	47.1%	—	47.1%
総合・環境・情報・人間	74.0%	77.8%	73.4%
合計	69.6%	70.6%	69.4%

「社会・国際」「経済・経営・商」「法・政治」の文系分野で高く、理系分野で低い。理系学部では、初年次から必修の専門基礎科目などが多く設置されており、その中で、実験レポートの書き方など文系学部における初年次ゼミにおけるスタディスキルの修得やグループワークなどの要素も含まれているためと思われる。

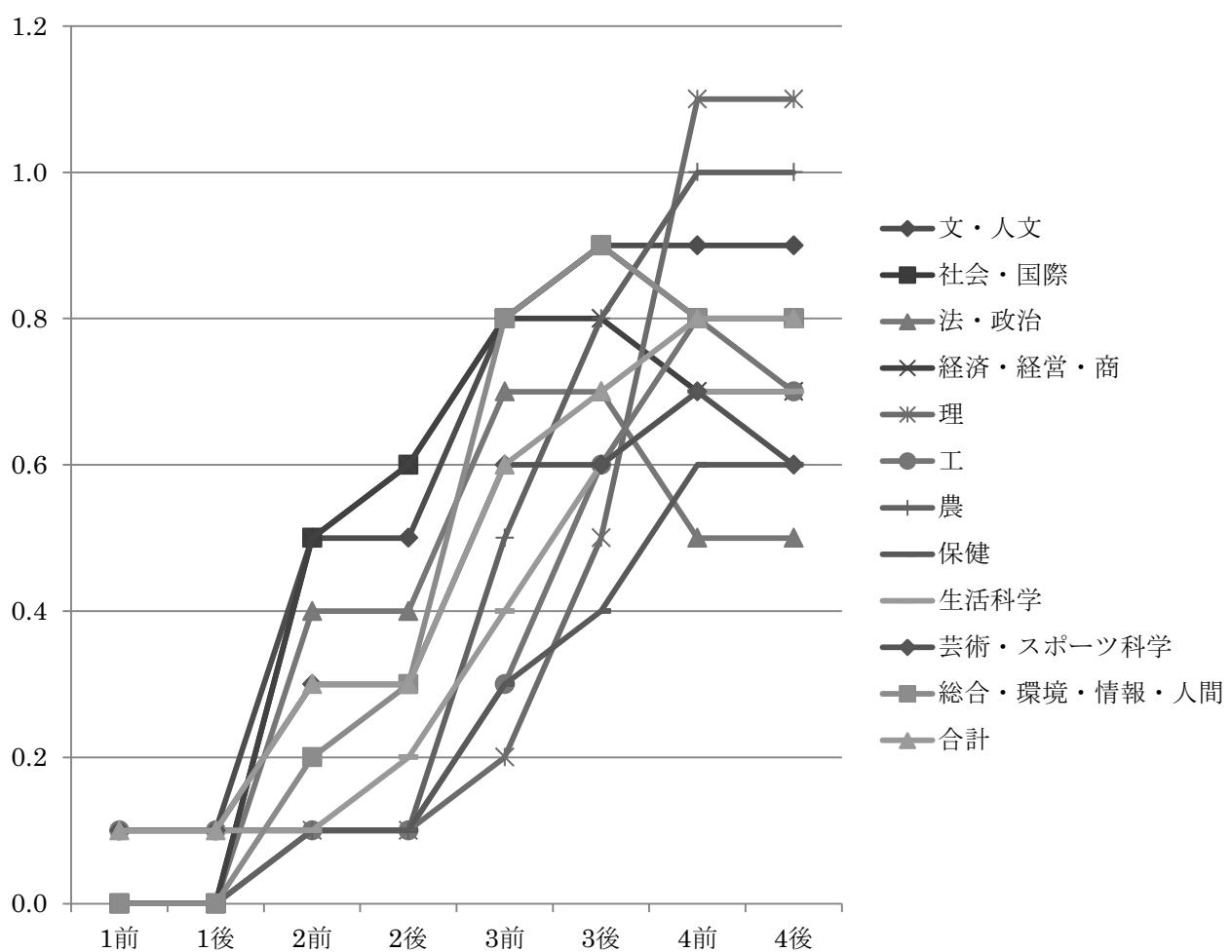
【2】専門ゼミ・専門研究について

4年間を通じ、1人の学生が履修しなければならない専門ゼミ・専門研究科目(必修あるいは履修率90%以上)の各セメスターでの科目数を聞いた。

①1科目=1ポイント、②2科目=2ポイント、③3科目以上=3ポイント、④0科目=0ポイントとして、学科系統ごとに、各セメスターでの平均ポイントを算出した。

(集計表は次ページ)

	全体							
	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後
文・人文	0.1	0.1	0.5	0.5	0.8	0.9	0.9	0.9
社会・国際	0.0	0.0	0.5	0.6	0.8	0.9	0.8	0.8
法・政治	0.0	0.0	0.4	0.4	0.7	0.7	0.5	0.5
経済・経営・商	0.0	0.0	0.5	0.6	0.8	0.8	0.7	0.7
理	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.5	1.1	1.1
工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.6	0.8	0.7
農	0.0	0.0	0.1	0.1	0.5	0.8	1.0	1.0
保健	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4	0.6	0.6
生活科学	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.6	0.7	0.7
芸術・スポーツ科学	0.1	0.1	0.3	0.3	0.6	0.6	0.7	0.6
総合・環境・情報・人間	0.0	0.0	0.2	0.3	0.8	0.9	0.8	0.8
合計	0.1	0.1	0.3	0.3	0.6	0.7	0.8	0.8



	国公立							
	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後
文・人文	0.0	0.1	0.5	0.5	0.9	0.7	0.6	0.7
社会・国際	0.0	0.0	0.6	0.7	0.9	1.0	1.1	1.2
法・政治	0.0	0.2	0.4	0.3	0.7	0.6	0.5	0.5
経済・経営・商	0.0	0.0	0.3	0.5	0.9	0.9	0.8	0.9
理	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.3	1.1	1.0
工	0.1	0.0	0.2	0.1	0.2	0.3	0.8	0.6
農	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	1.1	1.0
保健	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.5	0.5
生活科学	-	-	-	-	-	-	-	-
芸術・スポーツ科学	-	-	-	-	-	-	-	-
総合・環境・情報・人間	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.7	0.7	0.6
合計	0.0	0.0	0.2	0.2	0.4	0.5	0.8	0.7
	私立							
	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後
文・人文	0.1	0.1	0.5	0.5	0.8	0.9	0.9	0.9
社会・国際	0.0	0.0	0.5	0.6	0.8	0.9	0.8	0.8
法・政治	0.0	0.0	0.4	0.4	0.7	0.7	0.6	0.5
経済・経営・商	0.0	0.0	0.5	0.6	0.8	0.8	0.7	0.7
理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	1.1	1.1
工	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.6	0.8	0.7
農	0.0	0.0	0.2	0.2	0.6	0.9	1.0	0.9
保健	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4	0.6	0.6
生活科学	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.6	0.7	0.7
芸術・スポーツ科学	0.1	0.1	0.3	0.3	0.6	0.6	0.7	0.6
総合・環境・情報・人間	0.0	0.0	0.3	0.3	0.8	0.9	0.9	0.8
合計	0.1	0.1	0.3	0.3	0.6	0.7	0.8	0.8

専門ゼミ・専門研究は、文系では「文・人文」「社会・国際」「経済・経営・商」が高く、理系では「理」「工」「農」が、また文理融合では「総合・環境・情報・人間」が高い比率で実施されている。文系や文理融合の場合は3~4年次に同レベルで連続しているが、理系の場合は「理」「工」「農」とともに3年次には設置されている比率が低く、4年次になってから高い実施率になる傾向が顕著である。ただ「経済・経営・商」の場合は、わずかだが3年次よりも4年次が低くなっている点が特徴的だ。

【3】卒業論文・卒業研究について

卒業論文・卒業研究について、学科系統ごとに、「必須」「選択」「課していない」の回答のそれぞれの比率を算出した。

	全体			国公立			私立		
	必須	選択	課していない	必須	選択	課していない	必須	選択	課していない
文・人文	75.4%	21.7%	2.9%	100.0%	0.0%	0.0%	74.2%	22.8%	3.1%
社会・国際	64.2%	33.3%	2.4%	84.6%	7.7%	7.7%	61.8%	36.4%	1.8%
法・政治	25.9%	44.7%	29.4%	36.4%	36.4%	27.3%	24.3%	45.9%	29.7%
経済・経営・商	36.5%	53.4%	10.1%	53.8%	34.6%	11.5%	34.1%	56.0%	9.9%
理	75.5%	14.9%	9.6%	68.0%	20.0%	12.0%	78.3%	13.0%	8.7%
工	98.4%	1.1%	0.5%	98.9%	1.1%	0.0%	98.2%	1.1%	0.7%
農	86.6%	13.4%	0.0%	87.9%	12.1%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%
保健	84.9%	10.1%	5.0%	94.7%	2.6%	2.6%	80.2%	13.6%	6.2%
生活科学	81.5%	18.5%	0.0%	—	—	—	81.5%	18.5%	0.0%
芸術・スポーツ科学	80.6%	9.0%	10.4%	—	—	—	80.6%	9.0%	10.4%
総合・環境・情報・人間	81.2%	17.4%	1.4%	85.7%	14.3%	0.0%	80.6%	17.7%	1.6%
合計	74.2%	20.7%	5.1%	86.0%	9.8%	4.2%	72.1%	22.7%	5.3%

卒業論文・卒業研究については、全体を通じて理系および「総合・環境・情報・人間」が必須率が高く、文系は押しなべて低い。理系の中では「理」が低いのが特徴。国公立と私立を比較すると、国公立全体で 86.0%に対して私立全体で 72.1%と、総じて国公立の方が必須率が高い。特に「文・人文」では、国公立の必須率は 100%であるのに対して私立は 74.2%と、その差が大きいのが目立つ。

【4】演習・実験・実習について

4年間を通じ、1人の学生が履修しなければならない演習・実験・実習科目(必修あるいは履修率90%以上)の各セメスターでの科目数を聞いた。

①1科目=1ポイント、②2科目=2ポイント、③3科目=3ポイント、④4科目=4ポイント、⑤5科目以上=5ポイント、⑥0科目=0ポイントとして、学科系統ごとに、各セメスターでの平均ポイントを算出した。

	全体							
	1前	1後	2前	2後	3前	3後	4前	4後
文・人文	1.0	1.0	1.3	1.3	1.2	1.1	0.7	0.7
社会・国際	0.3	0.4	0.8	0.7	0.9	0.9	0.5	0.5
法・政治	0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
経済・経営・商	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
理	1.1	1.1	1.5	1.5	1.6	1.4	0.5	0.4
工	1.1	1.2	1.5	1.5	1.6	1.3	0.4	0.3
農	1.0	0.9	1.1	1.3	1.7	1.3	0.6	0.6
保健	1.1	1.4	2.1	2.4	2.7	2.7	1.8	1.0
生活科学	1.9	2.2	2.5	2.9	2.8	2.5	1.6	1.3
芸術・スポーツ科学	1.1	1.2	1.6	1.5	1.7	1.6	0.8	0.8
総合・環境・情報・人間	0.7	0.7	0.9	0.9	0.9	0.8	0.4	0.3
合計	0.9	1.0	1.2	1.3	1.3	1.2	0.7	0.6

	国公立							
	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後
文・人文	0.3	0.2	1.0	1.0	1.0	1.0	0.4	0.3
社会・国際	0.2	0.2	0.5	0.5	0.9	0.9	0.5	0.5
法・政治	0.2	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1
経済・経営・商	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
理	0.8	0.7	1.6	1.7	1.7	1.3	0.4	0.4
工	0.9	0.9	1.4	1.6	1.7	1.3	0.5	0.4
農	0.9	0.8	1.1	1.4	1.7	1.3	0.8	0.7
保健	1.2	1.3	2.3	2.6	2.7	3.0	2.4	1.2
生活科学	-	-	-	-	-	-	-	-
芸術・スポーツ科学	-	-	-	-	-	-	-	-
総合・環境・情報・人間	0.6	0.7	1.1	1.0	1.1	0.9	0.8	0.1
合計	0.7	0.7	1.3	1.4	1.5	1.3	0.7	0.5
	私立							
	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後
文・人文	1.0	1.0	1.3	1.3	1.2	1.1	0.7	0.7
社会・国際	0.4	0.4	0.8	0.8	0.9	0.9	0.5	0.4
法・政治	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5
経済・経営・商	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
理	1.2	1.3	1.4	1.4	1.5	1.4	0.5	0.4
工	1.2	1.3	1.5	1.4	1.6	1.3	0.4	0.3
農	1.0	0.9	1.1	1.2	1.6	1.3	0.5	0.5
保健	1.1	1.5	2.0	2.3	2.7	2.6	1.5	1.0
生活科学	1.9	2.2	2.5	2.9	2.8	2.5	1.6	1.3
芸術・スポーツ科学	1.1	1.2	1.6	1.5	1.7	1.6	0.8	0.8
総合・環境・情報・人間	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.8	0.3	0.3
合計	0.9	1.0	1.2	1.3	1.3	1.2	0.6	0.6

演習・実験・実習の多くは、知識の確認・定着を目的とした一般的アクティブラーニングに分類できるが、総じて理系の方が実施率が高く、文系とは大きな差が見られる。文系では「文・人文」が比較的高いものの、それ以外の「社会・国際」「法・政治」「経済・経営・商」では、「理」「工」の3分の1程度の実施率にとどまっている。

特に、「保健」「生活科学」「芸術・スポーツ科学」などの実施率が高く、これは実習系の科目が多いためと思われる。

【5】アクティブラーニングを含む講義について

4年間を通じ、1人の学生が履修しなければならないアクティブラーニングを含む講義科目（必修あるいは履修率90%以上）の各セメスターでの科目数を聞いた。

①1科目=1ポイント、②2科目=2ポイント、③3科目=3ポイント、④4科目=4ポイント、⑤5科目以上=5ポイント、⑥0科目=0ポイントとして、学科系統ごとに、各セメスターでの平均ポイントを算出した。

	全体							
	1前	1後	2前	2後	3前	3後	4前	4後
文・人文	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	0.7	0.7
社会・国際	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.5	0.5
法・政治	0.5	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5
経済・経営・商	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3
理	0.5	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2
工	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5	0.3	0.2
農	0.4	0.5	0.4	0.5	0.6	0.5	0.3	0.3
保健	1.1	1.3	1.5	1.7	1.8	1.4	1.0	0.8
生活科学	1.3	1.2	1.3	1.4	1.4	1.3	0.7	0.7
芸術・スポーツ科学	0.9	0.9	0.9	0.9	0.7	0.7	0.5	0.5
総合・環境・情報・人間	0.5	0.4	0.6	0.6	0.5	0.5	0.2	0.2
合計	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.4

	国公立							
	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後
文・人文	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5	0.2	0.2
社会・国際	0.2	0.2	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2
法・政治	0.3	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3
経済・経営・商	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.1	0.2
理	0.6	0.6	0.7	0.9	0.8	0.8	0.4	0.3
工	0.5	0.5	0.6	0.7	0.6	0.7	0.4	0.3
農	0.3	0.4	0.6	0.7	0.7	0.7	0.2	0.2
保健	1.1	1.2	1.6	1.7	1.6	1.3	1.1	0.8
生活科学	-	-	-	-	-	-	-	-
芸術・スポーツ科学	-	-	-	-	-	-	-	-
総合・環境・情報・人間	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0
合計	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.3
	私立							
	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後
文・人文	1.0	1.0	1.2	1.1	1.1	1.1	0.7	0.7
社会・国際	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5
法・政治	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
経済・経営・商	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3
理	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
工	0.5	0.5	0.5	0.4	0.6	0.5	0.2	0.2
農	0.4	0.5	0.3	0.3	0.5	0.4	0.4	0.4
保健	1.1	1.3	1.4	1.6	1.8	1.4	0.9	0.8
生活科学	1.3	1.2	1.3	1.4	1.4	1.3	0.7	0.7
芸術・スポーツ科学	0.9	0.9	0.9	0.9	0.7	0.7	0.5	0.5
総合・環境・情報・人間	0.5	0.4	0.6	0.6	0.5	0.6	0.3	0.2
合計	0.8	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5

アクティブラーニングを含む講義科目は、多くの場合グループワークで課題解決に取り組むことまでは難しく、その意味で周囲との討議を含むなどの、知識の確認・定着のための一般的なアクティブラーニングが多いと思われる。文系では「文・人文」が実施率が高く、それ以外では「保健」と「生活科学」が高いのが特徴である。いわゆる理系は、実験科目で一般的なアクティブラーニングを実施しているため、講義科目での実施は低いのだと思われる。

【6】PBLを取り入れた科目について

アクティブラーニング型授業科目の中から、「PBLを取り入れた科目」の科目数を聞いた。

①1 科目=1 ポイント、②2 科目=2 ポイント、③3 科目以上=3 ポイント、④0 科目=0 ポイントとして、学科系統ごとに、各セメスターでの平均ポイントを算出した。

	全体							
	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後
文・人文	0.7	0.6	0.8	0.8	0.9	0.9	0.7	0.8
社会・国際	0.6	0.6	0.7	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6
法・政治	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3
経済・経営・商	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4
理	0.4	0.3	0.3	0.4	0.6	0.7	0.8	0.7
工	0.5	0.5	0.5	0.6	0.7	0.8	0.7	0.6
農	0.5	0.4	0.4	0.5	0.7	0.7	0.7	0.7
保健	0.6	0.6	0.7	0.9	1.0	0.9	0.8	0.6
生活科学	1.0	0.9	1.1	1.2	1.3	1.4	1.0	1.0
芸術・スポーツ科学	0.7	0.7	1.0	1.0	1.2	1.2	0.8	0.8
総合・環境・情報・人間	0.5	0.4	0.6	0.6	0.7	0.7	0.5	0.5
合計	0.6	0.5	0.6	0.7	0.8	0.8	0.7	0.6

	国公立							
	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後
文・人文	0.5	0.3	0.7	0.6	0.8	0.7	0.5	0.5
社会・国際	0.7	0.4	0.5	0.5	0.7	0.7	0.4	0.4
法・政治	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3
経済・経営・商	0.3	0.3	0.1	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
理	0.5	0.3	0.3	0.5	0.6	0.8	0.8	0.6
工	0.4	0.3	0.4	0.5	0.6	0.8	0.6	0.5
農	0.5	0.2	0.3	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5
保健	0.4	0.5	0.6	0.8	0.9	0.8	0.6	0.5
生活科学	-	-	-	-	-	-	-	-
芸術・スポーツ科学	-	-	-	-	-	-	-	-
総合・環境・情報・人間	0.0	0.1	0.6	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2
合計	0.4	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.5	0.5
	私立							
	1 前	1 後	2 前	2 後	3 前	3 後	4 前	4 後
文・人文	0.7	0.6	0.8	0.8	0.9	0.9	0.7	0.8
社会・国際	0.6	0.6	0.7	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6
法・政治	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3
経済・経営・商	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.5	0.4	0.4
理	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.8	0.8
工	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8	0.8	0.7	0.7
農	0.5	0.5	0.4	0.5	0.7	0.7	0.8	0.9
保健	0.6	0.6	0.7	0.9	1.0	0.9	0.8	0.6
生活科学	1.0	0.9	1.1	1.2	1.3	1.4	1.0	1.0
芸術・スポーツ科学	0.7	0.7	1.0	1.0	1.2	1.2	0.8	0.8
総合・環境・情報・人間	0.6	0.5	0.6	0.6	0.7	0.8	0.5	0.5
合計	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7

PBL については文系では「文・人文」「社会・国際」が多く、理系では「理」「工」では 3 年次、4 年次に多い。卒業研究につなげる科目が設置されているためと思われる。「理」では 1~2 年次が「工」よりも少ないので特徴的で、「工」は「ものづくり」などの創生授業が早い段階で組み込まれ、「理」は積み上げ型の講義科目が 1~2 年次に多く配置されていることを示しているようだ。また、医療系でいち早く PBL が取り入れられた経緯があるが、「保健」「生活科学」は 4 年間を通じて多い。「芸術・スポーツ科学」も多い。

逆に、PBL が少ないのは「法・政治」「経済・経営・商」である。4 年間を通じてあまり導入されていない実態が示されている。

(2) アクティブラーニングの形態ごと経験度について

【1】ゼミでのアクティブラーニング経験度

ゼミ科目の中で、A:グループ学習、B:プレゼンテーション、C:PBL、D:振り返りシート(学習の記録を含む)といった授業形態・取り組みを、全学科生のうち、どれくらいの割合が経験するかを聞いている。

①ほぼ全員が経験する=3 ポイント、②半数以上が経験する=2 ポイント、③半数未満が経験する=1 ポイント、
④経験しない=0 ポイント、⑤把握していない=0 ポイントとして、グループ学習、プレゼンテーション、PBL、振り
返りシートの、各年次での平均ポイントを算出した。

		全体				国公立				私立			
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
文・人文	グループ学習	2.1	1.3	1.9	1.8	1.7	1.2	1.7	1.3	2.3	1.4	2.1	1.9
	プレゼン	2.1	1.3	2.2	2.2	2.4	1.5	2.1	2.2	2.3	1.4	2.4	2.4
	PBL	1.1	0.8	1.5	1.5	1.3	0.8	1.2	1.5	1.2	0.9	1.7	1.7
	振り返り	1.1	0.6	1.0	1.0	1.1	0.5	0.7	1.0	1.2	0.7	1.1	1.1
社会・国際	グループ学習	2.5	1.6	2.2	2.0	2.7	1.7	2.3	2.1	2.7	1.7	2.3	2.1
	プレゼン	2.4	1.6	2.2	2.1	2.8	1.9	2.6	2.3	2.5	1.6	2.3	2.2
	PBL	1.2	1.0	1.5	1.4	1.5	0.7	1.3	1.2	1.2	1.2	1.6	1.6
	振り返り	1.3	0.7	1.1	1.0	1.1	0.7	1.1	1.1	1.4	0.8	1.1	1.0
法・政治	グループ学習	2.1	1.1	1.6	1.3	2.3	1.1	2.0	1.4	2.6	1.3	2.0	1.6
	プレゼン	2.1	1.1	1.8	1.4	2.3	1.0	1.5	1.3	2.7	1.4	2.2	1.8
	PBL	1.0	0.6	1.0	0.8	1.1	0.8	1.4	1.4	1.3	0.8	1.2	1.0
	振り返り	0.8	0.5	0.6	0.5	0.6	0.4	0.8	0.8	1.1	0.6	0.8	0.6
経済・経営・商	グループ学習	2.2	1.4	1.8	1.6	2.3	1.9	2.4	2.2	2.4	1.5	1.9	1.8
	プレゼン	2.0	1.4	1.9	1.8	2.5	2.1	2.7	2.6	2.2	1.5	2.0	1.9
	PBL	0.9	0.7	1.0	1.0	0.8	1.0	1.1	1.1	1.0	0.8	1.1	1.2
	振り返り	1.0	0.6	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	1.1	0.7	0.9	0.9
理	グループ学習	1.2	0.4	1.1	2.0	1.5	0.5	0.8	1.6	1.3	0.4	1.3	2.4
	プレゼン	1.0	0.3	1.1	2.5	1.6	0.7	1.2	2.8	0.9	0.2	1.1	2.7
	PBL	0.6	0.2	0.6	1.4	0.9	0.3	0.7	1.4	0.5	0.2	0.7	1.6
	振り返り	0.5	0.1	0.4	0.9	0.5	0.0	0.3	0.5	0.6	0.2	0.5	1.1
工	グループ学習	1.6	0.4	1.3	1.8	1.8	0.5	0.8	1.8	1.6	0.5	1.6	2.0
	プレゼン	1.4	0.4	1.3	2.4	1.7	0.5	0.8	2.4	1.4	0.5	1.6	2.6
	PBL	0.9	0.4	1.0	1.9	0.9	0.4	0.7	2.0	1.0	0.4	1.2	2.0
	振り返り	0.8	0.2	0.7	1.3	1.0	0.3	0.5	1.4	0.9	0.2	0.8	1.3
農	グループ学習	1.6	0.4	1.5	1.9	1.9	0.3	1.4	1.7	1.8	0.6	2.1	2.5
	プレゼン	1.3	0.3	1.7	2.3	1.8	0.2	1.6	2.7	1.4	0.5	2.3	2.8
	PBL	0.8	0.3	1.0	1.6	1.2	0.2	1.0	1.8	0.7	0.4	1.4	1.9
	振り返り	0.8	0.3	1.1	1.5	0.8	0.1	0.8	1.5	1.1	0.5	1.5	1.9

		全体				国公立				私立			
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
保健	グループ学習	1.4	0.7	1.3	2.1	1.2	0.9	1.3	2.3	1.9	0.8	1.6	2.5
	プレゼン	1.2	0.6	1.2	2.3	1.1	0.8	1.3	2.6	1.6	0.7	1.4	2.8
	PBL	0.7	0.4	0.8	1.4	0.5	0.4	0.7	1.3	1.0	0.4	1.0	1.8
	振り返り	1.0	0.5	0.9	1.5	0.9	0.7	1.1	1.7	1.3	0.5	1.0	1.8
生活科学	グループ学習	1.8	0.9	1.7	2.2	—	—	—	—	1.9	0.9	1.8	2.3
	プレゼン	1.6	0.8	1.4	2.4	—	—	—	—	1.7	0.8	1.5	2.6
	PBL	1.1	0.5	1.3	2.0	—	—	—	—	1.2	0.6	1.4	2.1
	振り返り	1.4	0.6	1.0	1.5	—	—	—	—	1.5	0.6	1.1	1.6
芸術・スポーツ 科学	グループ学習	1.3	0.9	1.4	1.5	—	—	—	—	1.7	1.2	1.8	1.9
	プレゼン	1.2	1.0	1.6	1.9	—	—	—	—	1.6	1.3	2.1	2.5
	PBL	0.8	0.8	1.3	1.5	—	—	—	—	1.1	1.0	1.7	1.9
	振り返り	0.6	0.3	0.7	0.8	—	—	—	—	0.8	0.4	0.9	1.1
総合・環境・情 報・人間	グループ学習	1.9	0.9	2.2	2.1	2.5	1.0	2.0	2.0	2.1	1.0	2.5	2.3
	プレゼン	1.7	0.9	2.2	2.4	2.0	0.8	2.2	2.3	1.9	1.0	2.4	2.7
	PBL	0.8	0.6	1.6	1.5	0.3	0.8	1.3	1.3	0.9	0.7	1.8	1.6
	振り返り	0.9	0.6	1.3	1.2	1.0	0.3	0.8	0.8	1.0	0.7	1.5	1.3
合計	グループ学習	1.8	0.9	1.6	1.8	1.8	0.8	1.3	1.9	2.1	1.1	1.9	2.0
	プレゼン	1.7	0.9	1.7	2.2	1.9	0.9	1.5	2.4	1.9	1.1	2.0	2.4
	PBL	0.9	0.6	1.2	1.5	0.9	0.5	0.9	1.6	1.1	0.7	1.4	1.7
	振り返り	1.0	0.5	0.9	1.1	0.9	0.4	0.7	1.2	1.1	0.5	1.0	1.2

ゼミ科目の中では、ほぼすべての学系において「プレゼン」「グループ学習」の経験率が高く、「PBL」「振り返り」の経験率が低い。これは、「PBL」「振り返り」に比して、「プレゼン」「グループ学習」が一般に教員にとり取り組みやすいことに起因していると思われる。またどの学系とも2年次の経験率が低いという結果になった。これに関しては、2年次が初年次ゼミと3年次からの専門ゼミの谷間に位置することから、そもそもゼミの実施率が低いことに起因すると思われる。

【2】演習・実験・実習でのアクティブラーニング経験度

アクティブラーニング型授業に該当する演習・実験・実習科目の中で、A:グループ学習、B:プレゼンテーション、C:PBL、D:振り返りシート(学習の記録を含む)といった授業形態・取り組みを、全学科生のうち、どれくらいの割合が経験するかを聞いている。

①ほぼ全員が経験する=3 ポイント、②半数以上が経験する=2 ポイント、③半数未満が経験する=1 ポイント、
④経験しない=0 ポイント、⑤把握していない=0 ポイントとして、グループ学習、プレゼンテーション、PBL、振り
返りシートの、各年次での平均ポイントを算出した。

		全体				国公立				私立			
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
文・人文	グループ学習	1.0	1.2	1.1	0.8	0.8	0.9	0.7	0.6	1.1	1.2	1.1	0.8
	プレゼン	1.0	1.2	1.1	0.9	0.9	1.3	0.9	1.0	1.0	1.2	1.2	0.9
	PBL	0.6	0.8	0.8	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.8	0.8	0.6
	振り返り	0.6	0.8	0.7	0.5	0.5	0.5	0.3	0.5	0.6	0.8	0.7	0.6
社会・国際	グループ学習	0.7	1.1	1.0	0.7	0.7	0.9	1.1	0.6	0.7	1.1	1.0	0.7
	プレゼン	0.6	1.0	0.9	0.7	0.7	0.9	1.1	0.6	0.6	1.0	0.9	0.7
	PBL	0.5	0.7	0.7	0.5	0.2	0.4	0.5	0.2	0.5	0.8	0.7	0.5
	振り返り	0.5	0.7	0.7	0.5	0.2	0.4	0.7	0.4	0.5	0.8	0.7	0.5
法・政治	グループ学習	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1
	プレゼン	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
	PBL	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1
	振り返り	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
経済・経営・商	グループ学習	0.5	0.4	0.4	0.4	0.2	0.3	0.4	0.3	0.5	0.5	0.4	0.4
	プレゼン	0.5	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4
	PBL	0.4	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.3	0.3	0.3
	振り返り	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.4	0.3	0.3	0.3
理	グループ学習	1.3	1.6	1.7	0.9	0.8	1.3	1.5	0.8	1.5	1.7	1.8	1.0
	プレゼン	1.0	1.1	1.3	1.0	1.0	1.2	1.5	1.0	1.0	1.1	1.2	1.0
	PBL	0.5	0.6	0.9	0.7	0.3	0.5	0.9	0.4	0.6	0.7	0.9	0.7
	振り返り	0.3	0.5	0.5	0.4	0.2	0.3	0.3	0.1	0.4	0.6	0.6	0.5
工	グループ学習	1.6	1.9	2.1	0.7	1.2	1.8	2.2	0.6	1.7	1.9	2.1	0.7
	プレゼン	1.0	1.3	1.8	0.8	0.6	1.0	1.6	0.8	1.1	1.4	1.8	0.8
	PBL	1.0	1.2	1.5	0.6	0.7	1.1	1.5	0.7	1.1	1.2	1.5	0.6
	振り返り	0.8	1.0	1.1	0.5	0.6	0.9	1.2	0.5	0.8	1.0	1.1	0.4
農	グループ学習	1.4	2.0	2.0	1.2	0.9	1.8	1.7	1.2	1.8	2.0	2.2	1.2
	プレゼン	0.9	1.1	1.5	1.3	0.8	0.9	1.2	1.4	1.0	1.1	1.8	1.3
	PBL	0.8	1.2	1.3	1.0	0.6	1.0	1.1	1.2	0.9	1.3	1.5	1.0
	振り返り	0.9	1.3	1.2	0.7	0.5	0.9	0.8	0.7	1.2	1.6	1.5	0.7

		全体				国公立				私立			
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
保健	グループ学習	1.8	2.2	2.3	1.9	1.8	2.3	2.3	2.0	1.9	2.2	2.3	1.9
	プレゼン	1.4	1.9	2.0	1.8	1.5	2.1	2.1	2.0	1.4	1.8	2.0	1.8
	PBL	0.9	1.3	1.4	1.3	0.7	1.1	1.1	1.0	1.0	1.4	1.6	1.4
	振り返り	1.5	1.8	1.9	1.7	1.5	1.9	2.0	1.8	1.5	1.8	1.9	1.7
生活科学	グループ学習	2.4	2.4	2.3	1.7	—	—	—	—	2.4	2.4	2.3	1.7
	プレゼン	1.6	1.9	2.0	1.7	—	—	—	—	1.6	1.9	2.0	1.7
	PBL	1.3	1.5	1.8	1.4	—	—	—	—	1.3	1.5	1.8	1.4
	振り返り	1.8	1.7	1.6	1.3	—	—	—	—	1.8	1.7	1.6	1.3
芸術・スポーツ科学	グループ学習	1.2	1.5	1.2	0.8	—	—	—	—	1.2	1.5	1.2	0.8
	プレゼン	1.1	1.3	1.3	0.9	—	—	—	—	1.1	1.3	1.3	0.9
	PBL	0.9	1.0	1.2	0.7	—	—	—	—	0.9	1.0	1.2	0.7
	振り返り	0.6	0.8	0.6	0.4	—	—	—	—	0.6	0.8	0.6	0.4
総合・環境・情報・人間	グループ学習	1.0	1.3	1.1	0.4	0.6	1.7	1.0	0.0	1.1	1.3	1.1	0.4
	プレゼン	1.0	1.2	1.0	0.4	0.7	1.3	1.0	0.3	1.0	1.1	1.0	0.4
	PBL	0.8	1.0	0.9	0.3	0.3	1.3	1.0	0.3	0.9	1.0	0.9	0.3
	振り返り	0.8	0.9	0.8	0.2	0.7	1.0	1.0	0.0	0.8	0.9	0.8	0.3
合計	グループ学習	1.2	1.4	1.4	0.8	1.0	1.5	1.6	0.8	1.2	1.4	1.4	0.8
	プレゼン	0.9	1.1	1.2	0.9	0.7	1.1	1.3	1.0	0.9	1.1	1.2	0.8
	PBL	0.7	0.9	1.0	0.6	0.5	0.8	1.0	0.7	0.7	0.9	1.0	0.6
	振り返り	0.7	0.8	0.8	0.6	0.6	0.8	0.9	0.6	0.7	0.8	0.8	0.6

学系別では「法・政治」「経済・経営・商」が極端に経験率が低い。これは両学系に「演習・実験・実習」科目の設置が少ないと見られる。ただ、文系の中では「文・人文」「社会・国際」が比較的に経験率が高い。

理系の中では「工」「農」は「グループ学習」「プレゼン」だけでなく「PBL」「振り返り」の経験率も高いが、これらに比して「理」は「グループ学習」「プレゼン」の経験率はある程度あるものの、「PBL」「振り返り」の経験率は顕著に低い。

「保健」「生活科学」などは実習が多いため、4つのアクティブラーニングの経験率は各学年ともに高い経験率を示している。

【3】アクティブラーニングを含む講義でのアクティブラーニング経験度

アクティブラーニングを含む講義科目の中で、A:グループ学習、B:プレゼンテーション、C:PBL、D:振り返りシート(学習の記録を含む)といった授業形態・取り組みを、全学科生のうち、どれくらいの割合が経験するかを聞いている。

①ほぼ全員が経験する=3 ポイント、②半数以上が経験する=2 ポイント、③半数未満が経験する=1 ポイント、④経験しない=0 ポイント、⑤把握していない=0 ポイントとして、グループ学習、プレゼンテーション、PBL、振り返りシートの、各年次での平均ポイントを算出した。

		全体				国公立				私立			
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
文・人文	グループ学習	1.0	0.9	0.9	0.7	0.9	0.6	0.5	0.4	1.0	0.9	0.9	0.7
	プレゼン	0.9	0.9	0.9	0.7	0.5	0.6	0.5	0.5	0.9	0.9	0.9	0.7
	PBL	0.6	0.6	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.6	0.6	0.7	0.5
	振り返り	0.8	0.8	0.7	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.8	0.8	0.7	0.5
社会・国際	グループ学習	0.7	0.6	0.5	0.3	0.2	1.0	0.5	0.5	0.7	0.6	0.5	0.3
	プレゼン	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.9	0.5	0.5	0.7	0.6	0.5	0.3
	PBL	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.6	0.5	0.4	0.3
	振り返り	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.6	0.4	0.4	0.2
法・政治	グループ学習	0.5	0.2	0.2	0.2	0.3	0.0	0.3	0.3	0.5	0.2	0.2	0.2
	プレゼン	0.4	0.2	0.2	0.2	0.3	0.0	0.1	0.1	0.4	0.2	0.2	0.2
	PBL	0.4	0.2	0.2	0.2	0.5	0.3	0.3	0.3	0.4	0.2	0.2	0.1
	振り返り	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.1	0.1
経済・経営・商	グループ学習	0.6	0.5	0.4	0.3	0.5	0.3	0.1	0.1	0.6	0.6	0.5	0.3
	プレゼン	0.5	0.5	0.4	0.3	0.5	0.2	0.1	0.1	0.5	0.5	0.4	0.3
	PBL	0.5	0.4	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.5	0.4	0.4	0.2
	振り返り	0.5	0.4	0.3	0.2	0.4	0.1	0.1	0.1	0.5	0.5	0.4	0.3
理	グループ学習	0.6	0.5	0.5	0.3	0.5	0.4	0.4	0.3	0.6	0.5	0.5	0.3
	プレゼン	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.6	0.7	0.6	0.4	0.4	0.5	0.4
	PBL	0.4	0.4	0.4	0.3	0.5	0.4	0.5	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3
	振り返り	0.3	0.3	0.3	0.2	0.4	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4	0.3	0.2
工	グループ学習	0.8	0.7	0.8	0.4	0.8	0.7	1.1	0.4	0.9	0.7	0.7	0.4
	プレゼン	0.7	0.6	0.8	0.5	0.8	0.6	1.0	0.5	0.7	0.6	0.7	0.5
	PBL	0.7	0.6	0.7	0.4	0.8	0.6	0.9	0.5	0.7	0.5	0.7	0.4
	振り返り	0.6	0.5	0.6	0.3	0.8	0.6	0.8	0.4	0.5	0.5	0.5	0.3
農	グループ学習	0.7	0.7	0.8	0.5	0.6	0.8	0.7	0.3	0.7	0.6	0.8	0.7
	プレゼン	0.6	0.6	0.9	0.8	0.4	0.7	0.9	0.6	0.7	0.5	0.9	0.8
	PBL	0.5	0.5	0.8	0.6	0.3	0.6	0.9	0.6	0.6	0.5	0.7	0.6
	振り返り	0.5	0.6	0.6	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.4

		全体				国公立				私立			
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
保健	グループ学習	1.6	1.6	1.7	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	1.7	1.7	1.9	1.4
	プレゼン	1.2	1.3	1.5	1.3	1.0	1.1	1.1	1.3	1.3	1.4	1.7	1.2
	PBL	0.9	1.1	1.2	1.1	0.7	1.1	0.9	1.2	1.0	1.1	1.3	1.1
	振り返り	1.2	1.4	1.5	1.4	1.0	1.2	1.2	1.3	1.2	1.5	1.6	1.4
生活科学	グループ学習	1.1	1.0	1.0	0.6	—	—	—	—	1.1	1.0	1.0	0.6
	プレゼン	1.0	1.0	0.9	0.6	—	—	—	—	1.0	1.0	0.9	0.6
	PBL	1.0	0.7	0.8	0.6	—	—	—	—	1.0	0.7	0.8	0.6
	振り返り	1.0	0.9	0.8	0.5	—	—	—	—	1.0	0.9	0.8	0.5
芸術・スポーツ 科学	グループ学習	0.8	0.8	0.7	0.4	—	—	—	—	0.8	0.8	0.7	0.4
	プレゼン	0.7	0.8	0.7	0.4	—	—	—	—	0.7	0.8	0.7	0.4
	PBL	0.6	0.7	0.6	0.3	—	—	—	—	0.6	0.7	0.6	0.3
	振り返り	0.5	0.5	0.5	0.2	—	—	—	—	0.5	0.5	0.5	0.2
総合・環境・情 報・人間	グループ学習	0.8	0.8	0.6	0.3	0.3	0.3	0.6	0.0	0.9	0.8	0.6	0.3
	プレゼン	0.7	0.8	0.6	0.3	0.3	0.7	0.6	0.0	0.7	0.8	0.6	0.3
	PBL	0.6	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.6	0.6	0.5	0.3
	振り返り	0.5	0.6	0.4	0.1	0.3	0.7	0.7	0.0	0.5	0.6	0.4	0.2
合計	グループ学習	0.9	0.8	0.8	0.5	0.7	0.7	0.8	0.5	0.9	0.8	0.8	0.5
	プレゼン	0.7	0.7	0.8	0.5	0.7	0.7	0.8	0.6	0.8	0.7	0.7	0.5
	PBL	0.6	0.6	0.6	0.4	0.5	0.6	0.7	0.5	0.6	0.6	0.6	0.4
	振り返り	0.7	0.6	0.6	0.4	0.6	0.5	0.6	0.4	0.7	0.6	0.6	0.4

アクティブラーニングを含む講義科目そのものの設置数が少ないということが、全体的に示されている。その中で、「保健」「生活科学」の両学系が突出している。特に「保健」では、「振り返り」まで含めて、4つのアクティブラーニング要素の経験率が満遍なく高いことが特徴である。講義科目が実質的なアクティブラーニング科目として機能していると思われる。

(3) 正課のインターンシップと海外留学について

【1】正課科目（単位認定科目）としてのインターンシップ

正課科目（単位認定科目）で、国内外でのインターンシップを、4年間を通じて経験する学科生の割合を聞いた。

「①ほぼ全員が経験する」「②半数以上が経験する」「③半数未満が経験する」「④経験しない」「⑤把握していない」それぞれの比率を、学科系統ごとに算出した。

	全体				
	ほぼ全員	半数以上	半数未満	経験しない	把握していない
文・人文	5.1%	5.1%	51.7%	26.9%	11.1%
社会・国際	3.8%	7.7%	68.5%	13.1%	6.9%
法・政治	0.0%	3.4%	77.0%	13.8%	5.7%
経済・経営・商	4.2%	3.7%	72.6%	16.3%	3.3%
理	1.0%	3.1%	42.7%	43.8%	9.4%
工	5.3%	3.4%	70.3%	17.9%	3.2%
農	7.2%	7.2%	71.1%	7.2%	7.2%
保健	24.8%	0.8%	5.6%	67.2%	1.6%
生活科学	16.7%	7.6%	40.9%	28.8%	6.1%
芸術・スポーツ科学	0.0%	4.4%	42.6%	51.5%	1.5%
総合・環境・情報・人間	2.8%	2.8%	74.6%	19.7%	0.0%
合計	6.1%	4.3%	58.1%	25.6%	5.9%

	国公立					私立				
	ほぼ全員	半数以上	半数未満	経験しない	把握していない	ほぼ全員	半数以上	半数未満	経験しない	把握していない
文・人文	0.0%	0.0%	72.7%	9.1%	18.2%	5.4%	5.4%	50.6%	27.9%	10.8%
社会・国際	6.7%	6.7%	46.7%	40.0%	0.0%	3.5%	7.8%	71.3%	9.6%	7.8%
法・政治	0.0%	0.0%	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	3.9%	75.0%	14.5%	6.6%
経済・経営・商	0.0%	14.3%	42.9%	39.3%	3.6%	4.8%	2.1%	77.0%	12.8%	3.2%
理	0.0%	3.7%	25.9%	59.3%	11.1%	1.4%	2.9%	49.3%	37.7%	8.7%
工	3.1%	5.2%	76.0%	14.6%	1.0%	6.0%	2.8%	68.3%	19.0%	3.9%
農	9.1%	3.0%	66.7%	9.1%	12.1%	6.0%	10.0%	74.0%	6.0%	4.0%
保健	10.5%	0.0%	10.5%	73.7%	5.3%	31.0%	1.1%	3.4%	64.4%	0.0%
生活科学	—	—	—	—	—	16.7%	7.6%	40.9%	28.8%	6.1%
芸術・スポーツ科学	—	—	—	—	—	0.0%	4.4%	42.6%	51.5%	1.5%
総合・環境・情報・人間	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.1%	3.1%	71.9%	21.9%	0.0%
合計	4.0%	4.3%	57.0%	29.2%	5.4%	6.5%	4.3%	58.3%	24.9%	6.0%

正課としてのインターンシップは、「保健」では 24.8%が全員が経験する。これは職場体験などがカリキュラムに組み込まれているためである。「生活科学」でも 16.7%が全員経験し、半数以上が経験するのは 7.6%である。

これらに比して、「法・政治」「理」「芸術・スポーツ科学」での経験率は極端に低い。「文・人文」では国立大学が全員経験する、半数以上経験するがともに 0%であるのに対して、私立では全員経験する、半数以上経験するがともに 5.4%と開きが大きい。

【2】正課科目（単位認定科目）としての海外留学

正課科目（単位認定科目）の海外留学を経験する学科生の割合を聞いた。

「①ほぼ全員が経験する」「②半数以上が経験する」「③半数未満が経験する」「④経験しない」「⑤把握していない」の回答のそれぞれの比率を、学科系統ごとに算出した。

	全体				
	ほぼ全員	半数以上	半数未満	経験しない	把握していない
文・人文	6.7%	4.2%	63.5%	21.2%	4.4%
社会・国際	3.1%	3.1%	70.0%	21.5%	2.3%
法・政治	0.0%	1.1%	74.7%	18.4%	5.7%
経済・経営・商	0.5%	0.5%	82.3%	15.3%	1.4%
理	0.0%	1.0%	43.8%	46.9%	8.3%
工	0.0%	0.0%	43.5%	52.0%	4.5%
農	0.0%	0.0%	63.9%	27.7%	8.4%
保健	3.2%	0.0%	33.6%	60.0%	3.2%
生活科学	0.0%	1.5%	50.0%	42.4%	6.1%
芸術・スポーツ科学	0.0%	0.0%	65.7%	32.8%	1.5%
総合・環境・情報・人間	0.0%	0.0%	69.0%	26.8%	4.2%
合計	2.2%	1.5%	59.1%	33.0%	4.2%

海外留学については「文・人文」が全員経験するが 6.7%、半数以上経験する 4.2%と高い。これは外国語学部系が含まれているためである。「保健」3.2%、「社会・国際」3.1%がそれに続く。それ以外は「経済・経営・商」の 0.5%を除いて、すべての学系で全員経験するは 0%となっており、制度化されていない現状が明らかとなった。

	国公立					私立				
	ほぼ全員	半数以上	半数未満	経験しない	把握していない	ほぼ全員	半数以上	半数未満	経験しない	把握していない
文・人文	4.5%	9.1%	72.7%	9.1%	4.5%	6.8%	3.9%	63.0%	21.9%	4.4%
社会・国際	0.0%	0.0%	73.3%	20.0%	6.7%	3.5%	3.5%	69.6%	21.7%	1.7%
法・政治	0.0%	0.0%	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	1.3%	72.4%	19.7%	6.6%
経済・経営・商	0.0%	0.0%	92.9%	3.6%	3.6%	0.5%	0.5%	80.7%	17.1%	1.1%
理	0.0%	3.7%	25.9%	59.3%	11.1%	0.0%	0.0%	50.7%	42.0%	7.2%
工	0.0%	0.0%	42.6%	52.1%	5.3%	0.0%	0.0%	43.8%	51.9%	4.2%
農	0.0%	0.0%	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%	70.0%	22.0%	8.0%
保健	2.6%	0.0%	26.3%	68.4%	2.6%	3.4%	0.0%	36.8%	56.3%	3.4%
生活科学	—	—	—	—	—	0.0%	1.5%	50.0%	42.4%	6.1%
芸術・スポーツ科学	—	—	—	—	—	0.0%	0.0%	65.7%	32.8%	1.5%
総合・環境・情報・人間	0.0%	0.0%	85.7%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	67.2%	29.7%	3.1%
合計	0.7%	1.1%	52.4%	40.0%	5.8%	2.4%	1.6%	60.4%	31.7%	3.9%

(4) ジェネリックスキルの評価について

各科目の中で、専門知識だけでなくジェネリックスキル(汎用的能力)について、ループリック等を用いて評価しているかを聞いた。

学科系統ごとに、「①全科目で評価している」「②一部の科目で評価している」「③評価していない」の回答のそれぞれの比率を算出した。

	全体			国公立			私立		
	全科目	一部科目	評価していない	全科目	一部科目	評価していない	全科目	一部科目	評価していない
文・人文	1.8%	15.7%	82.4%	0.0%	20.0%	80.0%	1.9%	15.5%	82.6%
社会・国際	0.8%	17.4%	81.8%	0.0%	6.7%	93.3%	0.9%	18.8%	80.3%
法・政治	6.0%	9.5%	84.5%	12.5%	0.0%	87.5%	5.3%	10.5%	84.2%
経済・経営・商	1.4%	10.3%	88.3%	0.0%	3.7%	96.3%	1.6%	11.2%	87.2%
理	3.1%	17.7%	79.2%	3.7%	11.1%	85.2%	2.9%	20.3%	76.8%
工	6.9%	24.8%	68.3%	8.4%	24.2%	67.4%	6.3%	25.0%	68.7%
農	0.0%	14.7%	85.3%	0.0%	7.7%	92.3%	0.0%	18.4%	81.6%
保健	2.4%	23.6%	74.0%	0.0%	23.1%	76.9%	3.4%	23.9%	72.7%
生活科学	1.5%	23.5%	75.0%	-	-	-	1.5%	23.5%	75.0%
芸術・スポーツ科学	1.5%	11.8%	86.8%	-	-	-	1.5%	11.8%	86.8%
総合・環境・情報・人間	5.7%	18.6%	75.7%	0.0%	33.3%	66.7%	6.3%	17.2%	76.6%
合計	3.2%	17.8%	79.1%	3.8%	17.1%	79.1%	3.0%	17.9%	79.1%

学生のジェネリックスキルを「全科目で評価している」という学科は、極めて少ない。系統別に見ると、工学系統で「全科目で評価している」率がやや大きい。これは、JABEE の認証を受けている学科において、学科の教育目標と各科目を紐付けられており、その目標にジェネリックスキルに該当するものが含まれているためであろう。

意外なのは、「法・政治」で「全科目で評価している」が 6.0%、中でも国公立で 12.5% と高いことである。アクティブラーニングへの取り組みは低調である「法・政治」の、この点については注目される。

以下は、「全科目でジェネリックスキルを評価している」と回答のあった大学を抜粋した一例である。

全科目でジェネリックスキルを評価している大学の例

(国公立大 工学系)

JABEE 認証基準に従い、各科目と基盤的能力等との関係性を整理しており、その関連表をもとに、学生自身が学習ポートフォリオ上で自己評価します。これを助言教員が半年に一度の面談時に確認し、適宜アドバイスをしています。

(私立大 教員養成系)

平成 27 年度入学生に適用するカリキュラムにおいて、カリキュラムマップを作成し、専門知識のみならず、ジェネリックスキルについても各科目がカバーする能力等を明確にするようにした。(ただし、ループリックは作成していない。) また、「教職ファイル」を作成し、教職に関する学修について、学生に学期ごとの自己評価を行うことを課している。

(私立大 情報系)

- 1)本学の全ての科目では、学習支援計画書(いわゆるシラバスに相当)の作成時に、本学科で修得すべきジェネリックスキルのうち、個々の科目において修得すべきジェネリックスキルを明記しなくてはならない仕組みになっている。
- 2)全科目で授業終了時に実施される受講学生へのアンケートにおいて、上記 1)のジェネリックスキルに関する修得度合いに関する設問が必ず含まれるようになっている。
- 3)キャリア形成に関する科目(進路セミナーⅠⅡなど)では、受講生のジェネリックスキル全般について自己評価を行わせる講義回を設けている。
- 4)特に卒業研究においては、指導教員だけでなく学科内の教員がジェネリックスキルも含めた評価シートにて、評価を行うように努めている。

(私立大 経済・経営・商学系、工学系)

本学では、「単位を修得するために達成すべき到達目標」を「関心・意欲・態度」「知識・理解」「技能・表現・コミュニケーション」「思考・判断・創造」の 4 つの観点に分けてシラバスに明記している。4 つの観点のうち、「技能・表現・コミュニケーション」には知識を活用する力(リテラシー)と社会人基礎力の「チームで働く力」と「前に踏み出す力」を、「思考・判断・創造」には社会人基礎力の「考え方」を含むこととしており、ジェネリックスキルの要素を明確に取り込んでいる。これらの観点別評価においては、各教員に「知識・理解」のみに偏ることのないように指示されており、全科目において可能な限りいわゆるジェネリックスキルの評価を組み込んでいる。ジェネリックスキルなどの定性的な評価項目については、シラバスに評価の実施方法と達成水準の目安をループリックとして表記するようにしている。なお、評価方法には、レポート・作品等の提出物、プレゼンテーションなどを評価するパフォーマンス評価やポートフォリオ評価など多様な方法が用いられている。

